

サントリーサンバーズ小野副知事表敬

平成26年2月20日（木曜日）、バレーボールV・プレミアリーグのサントリーサンバーズが、最後のホームゲーム開催を前に、小野副知事を表敬訪問されました。サントリーサンバーズから、中田欽也（なかた きんや）部長、パオロ・モンタニャーニ監督、大原穰（おおはら ゆたか）チームディレクター、鎮西高校出身の岡本祥吾（おかもと しょうご）選手、富士田裕大（ふじた ゆうだい）選手、熊本県バレーボール協会から平田逸夫（ひらた いつお）理事長が出席されました。

挨拶の中でサンバーズ中田部長は、「これまで熊本のホームゲームでは、多くの声援のおかげで良い成績を残すことができた。しかし、これまで3ヶ所で開催できたVリーグのホームゲームが、来年度から2ヶ所になることを受け、今後は本拠地の大阪と本社のある東京でホームゲームを開催することとなった。我々も苦渋の決断であったが、今後も青少年の育成等、熊本県には協力させていただきたいと思う。」と述べられました。

それに対し小野副知事は「非常に残念なニュースだが、これからも熊本県民はサンバーズを応援するであろうし、これまでと変わらず子どもたちとの交流等お願いしたい。また、今回のホームゲームでは、是非有終の美を飾っていただきたい。スポーツは地域の人たちや子どもたちに夢を与えるものであり、今後も熊本のことを忘れずに頑張っていたいただきたい。」と述べました。

その後、オリンピックや日本のバレーボール界に関する話題等で歓談があり、サンバーズから小野副知事へ記念品が贈呈され、和やかな雰囲気ですべて終了しました。



左から：富士田選手・パオロ監督・小野副知事・岡本選手